

平成22年8月期 第2四半期決算短信

平成22年4月12日

上場会社名 株式会社 カワサキ

上場取引所 大

コード番号 3045 URL <http://www.kawasaki-corp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川崎 治

問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長

(氏名) 堀田 義行

TEL 072-439-8011

四半期報告書提出予定日 平成22年4月13日

配当支払開始予定日

平成22年5月14日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年8月期第2四半期の連結業績(平成21年9月1日～平成22年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年8月期第2四半期	1,364	△2.6	116	252.4	△73	—	△64	—
21年8月期第2四半期	1,400	—	32	—	△704	—	△225	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年8月期第2四半期	△50.94	—
21年8月期第2四半期	△172.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年8月期第2四半期	7,810	3,433	44.0	2,770.27
21年8月期	7,802	3,548	45.5	2,792.05

(参考) 自己資本 22年8月期第2四半期 3,433百万円 21年8月期 3,548百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年8月期	—	11.25	—	11.25	22.50
22年8月期	—	11.25	—	—	—
22年8月期(予想)	—	—	—	11.25	22.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年8月期の連結業績予想(平成21年9月1日～平成22年8月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,816	0.8	250	191.9	49	—	5	—	4.59

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
〔注〕詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年8月期第2四半期 1,450,500株 21年8月期 1,450,500株

② 期末自己株式数 22年8月期第2四半期 211,024株 21年8月期 179,624株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年8月期第2四半期 1,259,543株 21年8月期第2四半期 1,312,093株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 平成22年1月7日に発表の業績予想を平成22年4月7日に修正しております。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間（平成21年12月1日から平成22年2月28日）におけるわが国経済は、世界的な金融市場の混乱に伴う景気の低迷が続きましたが、企業の設備投資、雇用環境、個人消費は低水準で推移し依然厳しい状況にあります。

このような情勢下、当社グループの服飾事業におきましては前連結会計年度に引き続き新規取引百貨店の開拓を進めました。賃貸・倉庫事業におきましては前連結会計年度に取得した賃貸物件の賃貸先募集を進めました。これらの結果により、当第2四半期連結会計期間の連結業績は売上高663,640千円（前年同四半期連結会計期間比1.4%の増加）、経常損失8,973千円（前年同四半期連結会計期間は14,220千円の経常利益）となりました。この主な要因は、営業外費用に「包括的長期為替予約」の評価損等を為替差損として37,993千円計上したことによるものであります。以上の結果、四半期純損失は20,101千円（前年同四半期連結会計期間は9,369千円の四半期純損失）となりました。

事業の種類別セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①服飾事業

当事業部門におきましては、前連結会計年度に引き続き直営店展開と新規取引百貨店の開拓を進めました。売上高は528,636千円（前年同四半期連結会計期間比0.6%の減少）、営業損失は13,216千円（前年同四半期連結会計期間は84,903千円の営業損失）となりました。

②賃貸・倉庫事業

当事業部門におきましては、売上高は135,004千円（前年同四半期連結会計期間比10.1%の増加）、営業利益は47,946千円（前年同四半期連結会計期間比4.2%の減少）となりました。

③不動産仲介業

当事業部門におきましては、セグメント間の内部取引での売上高が10,906千円（前年同四半期連結会計期間比44.4%の減少）、営業利益は5,495千円（前年同四半期連結会計期間比31.0%の増加）となりました。

なお、平成22年8月期第1四半期に係る連結経営成績については、平成22年8月期第1四半期決算短信（平成22年1月12日開示）をご参照下さい。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べて317,086千円（20.3%）増加し、1,882,863千円となりました。この主な要因は、現金及び預金が293,911千円、受取手形及び売掛金が40,467千円増加したものの、商品及び製品が28,733千円減少したことによるものであります。

②固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べて308,761千円（5.0%）減少し、5,927,574千円となりました。この主な要因は、建物及び構築物が224,374千円、土地が119,715千円減少したことによるものであります。

③流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べて492,935千円（19.5%）増加し、3,016,922千円となりました。この主な要因は、短期借入金350,000千円、通貨スワップ契約等が148,112千円増加したことによるものであります。

④固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べて369,945千円(21.4%)減少し、1,359,837千円となりました。この主な要因は、長期借入金の減少380,821千円等によるものであります。

⑤純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて114,665千円(3.2%)減少し、3,433,678千円となりました。この主な要因は、自己株式の取得36,926千円、剰余金の配当14,297千円、四半期純損失の計上64,159千円等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローに係る収入が96,893千円、投資活動によるキャッシュ・フローに係る収入が202,500千円、財務活動によるキャッシュ・フローに係る支出が157,590千円となったこと等により、前四半期連結会計期間末に比べて127,410千円増加し、567,023千円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

通貨スワップ契約等が20,214千円増加したものの、税金等調整前四半期純損失37,234千円、売上債権の減少額25,334千円、たな卸資産の減少額35,009千円、固定資産の売却損28,261千円等により営業活動によるキャッシュ・フローは96,893千円の収入(前年同四半期連結会計期間と比べ1,624千円の増加)となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の売却による収入が190,000千円等により、当第2四半期連結会計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは202,500千円の収入(前年同四半期連結会計期間は619,750千円の支出)となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金の返済による支出381,870千円、自己株式の取得による支出25,720千円があったものの、短期借入金の純増額250,000千円により当第2四半期連結会計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは157,590千円の支出(前年同四半期連結会計期間は524,396千円の収入)となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績の動向を踏まえ、平成22年1月7日に公表した予想数値から業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、平成22年4月7日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	567,023	273,112
受取手形及び売掛金	262,383	221,916
商品及び製品	754,241	782,974
原材料及び貯蔵品	103,695	110,994
その他	196,927	178,215
貸倒引当金	△1,408	△1,436
流動資産合計	1,882,863	1,565,777
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,234,077	2,458,451
土地	3,333,657	3,453,373
その他(純額)	37,614	33,643
有形固定資産合計	5,605,349	5,945,468
無形固定資産	21,448	11,753
投資その他の資産		
その他	307,663	286,089
貸倒引当金	△6,887	△6,975
投資その他の資産合計	300,776	279,113
固定資産合計	5,927,574	6,236,335
資産合計	7,810,438	7,802,113

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	57,830	27,122
短期借入金	1,700,000	1,350,000
未払法人税等	4,141	5,587
賞与引当金	12,662	8,586
通貨スワップ契約等	740,564	592,451
その他	501,723	540,238
流動負債合計	3,016,922	2,523,986
固定負債		
長期借入金	1,008,180	1,389,001
役員退職慰労引当金	162,049	164,691
負ののれん	47,435	55,341
その他	142,172	120,749
固定負債合計	1,359,837	1,729,783
負債合計	4,376,760	4,253,770
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,300	564,300
資本剰余金	468,338	468,338
利益剰余金	2,683,942	2,762,399
自己株式	△280,606	△243,679
株主資本合計	3,435,974	3,551,357
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,296	△3,014
評価・換算差額等合計	△2,296	△3,014
純資産合計	3,433,678	3,548,343
負債純資産合計	7,810,438	7,802,113

(2)【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成22年2月28日)
売上高	1,400,017	1,364,195
売上原価	742,186	682,134
売上総利益	657,830	682,061
販売費及び一般管理費	624,850	565,846
営業利益	32,979	116,214
営業外収益		
受取利息	143	182
受取配当金	250	230
負ののれん償却額	7,905	7,905
その他	1,254	1,271
営業外収益合計	9,553	9,589
営業外費用		
支払利息	18,528	17,063
為替差損	728,002	179,187
その他	270	2,893
営業外費用合計	746,802	199,145
経常損失(△)	△704,268	△73,341
特別利益		
固定資産売却益	357,672	—
特別利益合計	357,672	—
特別損失		
固定資産売却損	—	36,045
特別損失合計	—	36,045
税金等調整前四半期純損失(△)	△346,595	△109,386
法人税、住民税及び事業税	1,293	1,189
法人税等調整額	△122,174	△46,415
法人税等合計	△120,880	△45,226
四半期純損失(△)	△225,714	△64,159

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)
売上高	654,650	663,640
売上原価	382,172	350,381
売上総利益	272,478	313,259
販売費及び一般管理費	308,747	278,158
営業利益又は営業損失(△)	△36,269	35,101
営業外収益		
受取利息	139	109
受取配当金	250	230
負ののれん償却額	3,952	3,952
その他	353	436
営業外収益合計	4,695	4,728
営業外費用		
支払利息	8,239	7,960
為替差損	△54,243	37,993
その他	210	2,848
営業外費用合計	△45,794	48,803
経常利益又は経常損失(△)	14,220	△8,973
特別損失		
固定資産売却損	—	28,261
特別損失合計	—	28,261
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	14,220	△37,234
法人税、住民税及び事業税	663	181
法人税等調整額	22,927	△17,314
法人税等合計	23,590	△17,132
四半期純損失(△)	△9,369	△20,101

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成22年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△346,595	△109,386
減価償却費	72,417	91,647
負ののれん償却額	△7,905	△7,905
支払利息	18,528	17,063
為替差損益(△は益)	14,104	23,450
固定資産売却損益(△は益)	△357,672	36,045
売上債権の増減額(△は増加)	24,661	△41,517
たな卸資産の増減額(△は増加)	△58,967	36,032
仕入債務の増減額(△は減少)	21,765	30,708
通貨スワップ契約等の増減額(△は減少)	700,031	148,112
その他	139	39,864
小計	80,507	264,115
利息及び配当金の受取額	393	412
利息の支払額	△17,911	△14,334
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△128,813	△1,813
営業活動によるキャッシュ・フロー	△65,823	248,379
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△692,806	△35,587
有形固定資産の売却による収入	1,195,596	226,053
その他	△6,080	12,500
投資活動によるキャッシュ・フロー	496,709	202,965
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△990,000	350,000
長期借入れによる収入	750,000	32,000
長期借入金の返済による支出	△138,540	△464,760
自己株式の取得による支出	△5,913	△36,926
配当金の支払額	△29,559	△14,297
財務活動によるキャッシュ・フロー	△414,013	△133,983
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14,104	△23,450
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,768	293,911
現金及び現金同等物の期首残高	317,543	273,112
現金及び現金同等物の四半期末残高	320,312	567,023

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自 平成20年12月1日 至 平成21年2月28日)

	服飾事業 (千円)	賃貸・倉庫 事業 (千円)	不動産 仲介業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	531,857	122,598	—	194	654,650	—	654,650
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	30	3,432	19,627	—	23,090	(23,090)	—
計	531,887	126,031	19,627	194	677,741	(23,090)	654,650
営業利益又は営業損失(△)	△84,903	50,050	4,196	97	△30,559	(5,709)	△36,269

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

- (1) 服飾事業……………シニール織高級タオル、婦人身の回り品(バック、ハンカチ)、婦人ウエア(ブラウス、セーター)、バス・トイレタリー製品
- (2) 賃貸・倉庫事業……………不動産の賃貸、商品の保管及び荷役の作業
- (3) 不動産仲介業……………不動産の賃貸及び売買の仲介業
- (4) その他の事業……………保険代理業

2 会計方針の変更

(1) 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、移動平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、移動平均法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)により算定しております。

当第2四半期連結会計期間(自 平成21年12月1日 至 平成22年2月28日)

	服飾事業 (千円)	賃貸・倉庫 事業 (千円)	不動産 仲介業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	528,636	135,004	—	663,640	—	663,640
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	24	2,800	10,906	13,731	(13,731)	—
計	528,660	137,804	10,906	677,372	(13,731)	663,640
営業利益又は営業損失(△)	△13,216	47,946	5,495	40,226	(5,125)	35,101

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

- (1) 服飾事業……………シニール織高級タオル、婦人身の回り品(バック、ハンカチ)、婦人ウエア(ブラウス、セーター)、バス・トイレタリー製品
- (2) 賃貸・倉庫事業……………不動産の賃貸、商品の保管及び荷役の作業
- (3) 不動産仲介業……………不動産の賃貸及び売買の仲介業
- (4) その他の事業……………なお、保険代理業につきましては平成21年3月末に廃業いたしました。

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年9月1日 至 平成21年2月28日)

	服飾事業 (千円)	賃貸・倉庫 事業 (千円)	不動産 仲介業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,153,645	245,940	—	431	1,400,017	—	1,400,017
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	30	6,319	58,157	—	64,507	(64,507)	—
計	1,153,676	252,259	58,157	431	1,464,525	(64,507)	1,400,017
営業利益又は営業損失(△)	△49,435	100,820	25,881	230	77,496	(44,516)	32,979

(注)1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

- (1) 服飾事業……………シニール織高級タオル、婦人身の回り品(バック、ハンカチ)、婦人ウエア(ブラウス、セーター)、バス・トイレタリー製品
- (2) 賃貸・倉庫事業……………不動産の賃貸、商品の保管及び荷役の作業
- (3) 不動産仲介業……………不動産の賃貸及び売買の仲介業
- (4) その他の事業……………保険代理業

2 会計方針の変更

(1) 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、移動平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、移動平均法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)により算定しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間の服飾事業の営業損失が8,275千円増加しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年9月1日 至 平成22年2月28日)

	服飾事業 (千円)	賃貸・倉庫 事業 (千円)	不動産 仲介業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,106,801	257,394	—	1,364,195	—	1,364,195
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	27	6,220	13,296	19,544	(19,544)	—
計	1,106,828	263,614	13,296	1,383,740	(19,544)	1,364,195
営業利益	30,084	85,412	6,384	121,881	(5,666)	116,214

(注)1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

- (1) 服飾事業……………シニール織高級タオル、婦人身の回り品(バック、ハンカチ)、婦人ウエア(ブラウス、セーター)、バス・トイレタリー製品
- (2) 賃貸・倉庫事業……………不動産の賃貸、商品の保管及び荷役の作業
- (3) 不動産仲介業……………不動産の賃貸及び売買の仲介業
- (4) その他の事業……………なお、保険代理業につきましては平成21年3月末に廃業いたしました。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年9月1日 至 平成21年2月28日)において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年9月1日 至 平成22年2月28日)において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため該当事項はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年9月1日 至 平成21年2月28日)において、海外売上高がないため該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年9月1日 至 平成22年2月28日)において、海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。